



峰山学園保幼小中一貫教育だより 峰山学園ほっとニュース

R2.12.8 (地域版) No.8

長いと思っていた2学期も12月に入り、冬休みまであとわずかとなりました。各園小中学校では、新型コロナウイルス感染症予防対策を施しながらたくさんの行事が行われました。『実り多き秋』にふさわしく、子ども達は多くの行事に意欲的に取り組み、取組を通して高めた力を日常生活と関連付け、より確かな力へと高めてきました。峰山学園が目指す「意欲をもって自ら学ぶ子」「共に学ぶ子」の育成に向け、2学期も最後まで取組を進め、元気に2学期を締めくくりたいと思います。

「SNS講演会」を小学生、中学生、保護者の3部構成で実施しました



小学生は4年生以上を対象に実施
初めて知る内容も多く驚いていました



中学生は1～3年生が一堂に会し
全員が最新の内容で学習しました



保護者の部では、携帯を操作しながら講演を聞きました。

SNSをはじめとする通信機器は今や避けては通れない時代となっています。どのような危険性があるのかを知り、機器を正しく利用することが大切であることを学びました。ゲームに依存しがちな傾向が見られる子ども達の現状を考えると、家族で話し合い納得のいく形で「家庭のルール」を作ることが大切になってきます。時間を決め、約束を守ることが自己コントロール力に繋がることも教えて頂きました。SNSの利便性と危険性を知ることが自分自身や家族を守ることに繋がります。また、安易な気持ちでの書き込みで一生活を棒に振ることがある事例も紹介され、人権的な視点を持つことの大切さも教えて頂きました。

第2回 峰山学園一斉あいさつ運動 11月25日に実施



11月25日(水)は好天の中、第2回目の峰山学園一斉あいさつ運動が行われました。各校の校門や玄関、通学路で地域・保護者の方に声をかけて頂きました。早朝よりお世話になり、ありがとうございました。

今後も、『挨拶の音がこだまする町作り』を目指し、子ども達の見守りを兼ね「おはよう」「おかえり」等の声をかけて頂けると幸いです。

6年生 中学校の授業を体験

11月19日(木)に峰山学園の6年生が中学校の教室で国語、社会、英語、数学、理科の5教科の授業を体験しました。最初は他校の児童と話をすることに緊張感が見られ、ぎこちなさもありましたが、それぞれの教科でペアやグループでの活動が組まれていたこともあり、時間が経つにつれて柔らかい表情に変わっていきました。相談活動もスムーズにできるようになり、楽しく学習する様子がどの教科においても見られました。この体験で中学校の授業に対するイメージが持てたり、入学を心待ちにする児童が増えたりするなど、子ども達の不安解消に繋がる体験となりました。



児童の感想より



- ぼくは理科の授業に参加しました。「大気の圧力を感じる」という難しい題材だったけど身近な事実をもとに考えると理解できました。また、他の小学校の人とも交流できたし、中学校の授業のイメージも持てて良かったです。中学校の授業体験、楽しかったです。(峰山小)
- 今回の授業体験ではこういう風に授業を受けているんだな、とイメージを持つことができました。また、他の学校とも仲良く交流ができ、楽しく授業を受けられました。これでまた、中学校に入る不安が1つ減り、緊張がほぐれました。中学校に入るまで残りわずかなので、日々を大切に過ごしながら中学校生活を迎えていきたいです。(いさなご小)
- 今回の授業体験は前回と違い屋内で行い、中学校の校舎の様子がよく分かった。また、中学校の授業がどんなものか分かってより身近なものになった。学習内容も今よりも少し難しくなっていたけどグループで話し合ってたので楽しかった。中学校での友達作りが少し不安だったけど、体験授業で同じグループの人と話せたから少し自信がついた。中学校でも新しい仲間と一緒に頑張りたいと思う。(しんざん小)
- 体験授業ではグループの人を2人知っていたし、あともう1人もすぐに仲良くなってワイワイ楽しく出来2回1位になれてとても嬉しかったです。私のグループでは+14点取れたり-20点になったりと、すごくびっくりしました。最後はグループのみんなで「早く中学生になりたい。」とっていました。(長岡小)

こども園では



峰山こども園では、作品展に向け、どの組も作品制作に励んでいます。はさみやのりを上手に使って、思い思いに制作します。手先を鍛え創造力を育みます。



ゆうかりこども園では、12月5日の発表会に向けての練習に励んでいます。セリフや動作を覚え、みんなで力を合わせ元氣いっぱい発表を目指します。